

平成 29年度事業報告書

テーマ：地域に開かれた法人として関わりを深め、安心のできる暮らしの支援

サブテーマ：住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できるように支援していく

部署名：あじさい園居宅介護支援事業所

<概要> 1. 利用者・家族・他の事業者が気軽に立ち寄り、相談件数も増えてきた。

介護法令を遵守し、ケアマネジメントを実施する中で、個人の能力や、人的・物的環境のニーズをする事で自立支援に繋げる事ができた。

緊急時の捜索訓練の実施や民生委員・警察署など、横の繋がりにて困難ケース(家族が遠方に住む単独世帯・高齢者世帯・認知世帯など)に対して家族の救済・支援ができた。

2. 受診や往診時にできるだけ直接出向き、入院時の情報提供を行った。入院中は面会し状況確認を行い、退院時にはスムーズに医療やサービス事業所等との連携が図れた。

3. 地域ケア会議・外部研修など定期的に参加。更新研修やケアプラン確認事業にて、適切なケアマネジメントが行えるよう質の向上を目指した。

<総括> 1. ケアプラン作成に関係する主治医、サービス事業所との連携の強化を図り、利用者・家族が安心して生活できるように努めた。

サービス担当者会議の開催、ケアプラン作成124件に加え3ヶ月ごとのプランの見直しを行った。新規利用者53件、入院時情報連携68件、退院時カンファレンス18件

・当法人事業所利用件数

デイサービス525件(66%) 認知症デイサービス313件(100%)

ショートステイ270件(91%) ヘルパー146件(62%)

新旧の利用者名簿を毎月作成し、ケアマネ同士の連携強化に努め、担当ケアマネが不在時に於いても利用者や家族のニーズに合わせ調整を行い、スムーズにサービス利用に繋がった。

2. 入院時の情報提供を早期に行うことにより連携が図れ、在宅生活へスムーズな移行ができた。看取りなど医療保険が必要な状況ではより連携を図り、状態の変化に応じる事ができた。

3. ケアマネの一連業務の変化に漏れを無くすため定期的(3ヶ月毎)にチェックを行うよう努め、自立支援に資するケアマネジメントに普遍化を図る事で、健全な給付業務が行えるよう確認できた。

坂井市医師会やケアマネSAKAIの研修会に参加。また包括主催による定期的な地域ケア会議で、「地域課題は利用者個人の課題解決法でもある」と学べた事は、支援の充実となり、質の向上に繋がった。